

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 巨大気腫性肺嚢胞手術例の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 吉井直子 (呼吸器外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2023年10月21日～2024年3月31日

巨大ブラ (巨大気腫性肺嚢胞) は、容量が一側胸腔 (片方の胸の中) の1/3以上を占める嚢胞と定義されます。気胸や嚢胞内感染のリスクがあることから、リスクを減少させる目的で手術が行われたり、嚢胞合併症を発症して手術となる場合があります。また、嚢胞の増大で健常肺が圧排され肺機能低下を来す可能性があり、手術による機能改善効果も期待されています。今回、当科における巨大ブラ手術例の患者背景、周術期 (術前・術中・術後) の状況、転帰などを調査し、手術治療の効果を検討します。

方法：カルテを用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2009年1月から2023年8月、当科で巨大気腫性肺嚢胞にて手術を施行した22例

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：① 臨床所見 (年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報 等)

② 血液所見 (血液生化学 等)

③ 画像検査 (胸部レントゲン、CT 等)

④ 生理検査 (肺機能検査 等)

⑤ 治療 (術前治療有無・内容、手術治療、術後治療有無・内容 等)

⑥ 治療反応性・予後 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

呼吸器外科 吉井直子

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971